

観光社会資本の事例

テーマ	木蠟と白壁の町 内子
【施設の状況写真】	
	
街なみと調和した道路整備や統一感のある修景整備された建物	古い民家を改装し、街なみ散策中の休憩及びイベント等に利用できる小広場を整備
【施設の利用写真】	
	
町家の特徴である白壁の町並みなど歴史的な沿道空間を散策する観光客	
【観光資源としての利用状況】 内子の歴史的な町並みを保存・活用した文化環境の整備及び住宅環境の整備により多くの来訪者を迎えている。また2004年には近隣の市町(愛媛県の西南部に当たる南予地域)を中心に新たなパビリオンを作るものではなく、今も残る町並みをテーマにした『えひめ町並博2004』が開催され、内子町にも数多くの観光客が訪れ、将来の観光振興につながるものとなった。	

テーマ	木蠟と白壁の町 内子
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 内子地区</p> <p>所在地 愛媛県喜多郡内子町</p> <p>事業名 街なみ環境整備事業</p> <p>事業主体 内子町</p> <p>事業期間 平成11年度～平成17年度</p>	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>地区の現況・整備</p> <p>木蠟生産が最盛期を迎えた、江戸時代末期から明治にかけての面影を残す民家が集積している伝統的建造物群保存地区に指定されており、旧道沿いには歴史的な街なみが残っていた。街なみにふさわしい道路美装(排水性舗装)や犬走りの修景を行い 一体的な道路空間として整備した他、道路を横断するせせらぎに掛かる橋を木造に改修、民家を改修した休憩所を持つ小広場も整備した。また街なみに調和してない住宅や老朽して補修の必要な住宅の外観(塀・柵も)整備に助成を行うことによって、修景を進めた。</p> <p>整備効果</p> <p>地区住民の参加と協力のもとに伝統的建造物を守り、歴史的な街なみの景観形成を図りつつ、住宅環境も整備した結果、観光に縁がなかった内子町に50万人もの来訪者が訪れるようになった。</p>	
<p>【位置図】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>http://www.town.uchiko.ehime.jp/kaanai/cyocya/machinami/kanko</p>	